

— 企画展 —

青木コレクション展 『近代洋画と日本画を中心に②』



第54回

先月号では、洋画家川村清雄について紹介しましたが、近代に自らが進むべき道を模索したのは、洋画家たちだけではありませんでした。伝統的な日本絵画の素材・技法を用いた「日本画家」たちも、目まぐるしく移り変わる世情の中で、新たな活躍の場を求めていました。

日本画家久保田米僊(1852~1906)は、京都日本画の系譜に属しながら、『国民新聞』の記者としても活躍しました。同時代の日本画家幸野楳嶺、望月玉泉とともに、京都府画学校の設立に貢献した一方で、日清戦争では従軍記者として活躍したほか、木版口絵の分野でも先駆者的な役割を果たした人物です。

19世紀後半は、西洋の各地で、万国博覧会が頻繁に開催された時代です。西欧列強諸国が、産業革命による先端技術を一堂に展示する万国博覧会は、明治政府にとって、情報収集と国威発揚の場として、重要なものでした。明治26年(1893)に、コロンブスのアメリカ大陸発見から400年を記念し、開催されたシカゴ万博の特派員として、米僊は渡米し、万博の様子を詳細に描き、日本人々にその賑わいを伝えました。図は、「閣龍世界大博覧会美術館中日本部之図」。シカゴ万博を描いた、『美術品画譜』のうちの一図です。シカゴ万博の日本館では、絵画の他に、彫刻や、五重塔の模型などが展示されました。本図は、報道画とし



久保田米僊「閣龍世界大博覧会美術館中日本部之図」当館蔵

ての性格が強いものになりますが、その軽妙な筆致は、日本絵画を修めた米僊だからこそ可能であったと思われます。

本展では、青木コレクションのうち、洋画と日本画を中心に、近代の画家たちの作品を中心に紹介します。近代日本美術の多様さをお楽しみ頂ければ幸いです。

那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 河野結美

【会 期】平成22年2月25日(木)~4月11日(日)

【開館時間】午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は午後4時30分まで)

【休 館 日】3月15日、23日、29日、4月5日

*毎月第3日曜日は「家庭の日」です。お子様(中学生以下)連れのご家族は、観覧料が無料になります。

ミニギャラリー 作品募集!

あなたの作品をここに展示してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問合せ: 企画財政課

☎0287-92-1114

入選 「社務所への花道」
岡 典子さん (北向日)



ミニ ギャラリー

ばとう道の駅
写真コンテスト
受賞作品



入選 「春風に乘って」
綿引勝春さん (大子町)